

研究課題(テーマ)		よろずレポート相談所(年次を超えて学生同士が教え合い学びあう教育)	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	知能ロボット工学科	教授	小柳健一
	知能ロボット工学科	准教授	高野博史
	知能ロボット工学科	准教授	澤井圭
	知能ロボット工学科	講師	野田堅太郎
研究結果の概要			
<p>本教育プログラムでは、新規に TA に携わる学生らを対象とし、学部 1~3 年生ら、専門の実験・演習、レポート執筆などの専門的な内容を未習熟な学生らに指導するための方法を教育する。このため、従来の形での「よろずレポート相談所(略称:よろず相談所)」は開設せず、新規 TA らに指導法を教える機会を新たに設ける。この時、円滑な指導をするため、既に TA に従事した経験を持つ大学院生らをチューターとして迎えた。</p> <p>新規 TA らへの指導は、実験前後にチューターらを交えて指導の機会を設けるだけでなく、チューターとともに実験・演習に参加してもらうことで実際の指導方法を直に体験し、学んでもらう機会も設けるなど、いくつかの指導方法を併用することでより深く指導の方法について学んでもらった。</p> <p>2022 年度は、ロボット創造演習および知能ロボット工学実験 1 にて新規 TA らに向けた講習を実施し、未習熟者への指導方法・レポートの作成方法などの指導法を教えるためのサポートしてもらった。</p> <p>また新入生の PC セッティングに関するオリエンテーションのサポートに当たる学生アルバイト達に手順を習熟させるために実機を用意し、これを用いて新入生らへのサポート方法を指導することで、学生アルバイト達がより円滑にオリエンテーションのサポートに当たることができるようになった。</p>			
今後の展開			
<p>昨年度に引き続き、過去に TA を経験したことがある大院生らをチューターとして起用し、新規 TA の指導のサポートすることで、これまで課題となっていた TA の引継ぎ問題を円滑化し、TA の指導能力の向上につながることが確認できた。今後もこの取り組みを継続し、更なる TA の指導能力の向上のため、実機を用いたより実践的な TA への指導を行うことで、TA らの指導力を向上する仕組みづくりに取り組みたい。</p>			